

第1回美園まちづくりワークショップ まとめ

◎第1回美園まちづくりワークショップが開催されました！

■開催の経緯

○区画整理事業の進行・オリンピックの開催

さいたま市・美園地区では、区画整理事業による都市基盤整備が進み、これから土地活用が本格化するなか、若い世代を中心とした人口増加や今後の高齢化を見据えた環境整備が必要です。また、サッカー試合日には全国から埼玉スタジアムへ大勢の人が集まり、2020年東京オリンピックの会場にもなるため、世界中から注目を浴びます。

○みその都市デザイン協議会の設立

様々な地区の課題に対応し、都市空間のデザインやマネジメントを推し進めるため、地権者・住民、民間事業者、大学、市などの連携によるまちづくり推進組織として、平成28年3月に「みその都市デザイン協議会」※1が設立されました。現在、美園地区が目指すべき都市デザインの将来目標や実践方針・戦略を示す「(仮称)みその都市デザイン方針」※2の検討作業が進んでいます。

○美園まちづくりワークショップを開催

まちづくりの主役である住む人・働く人によってこれからの美園のまちづくりを一緒に考えるため、みその都市デザイン協議会が「美園まちづくりワークショップ」を企画しました。参加募集を行ったところ、20代～70代の男女30名の参加者が集まっています。

全3回におよぶ本ワークショップの第1回目では、28名の方にご参加いただき、4班に分かれて美園地区のまちづくりのめざす方向について活発な意見交換がなされました。ワークショップの結果は本紙裏面に掲載しています。

なお、本ワークショップでの検討成果は、「(仮称)みその都市デザイン方針」に反映させていくことを予定しています。

第1回美園まちづくりワークショップ

日時 ■平成28年6月19日(日) 14:00～16:00

会場 ■美園コミュニティセンター 第1・2集会室

テーマ ■美園地区のまちづくりのめざす方向について
話し合おう。

参加者 ■29名(全4班)



一般社団法人美園タウンマネジメントより
主催者代表挨拶



さいたま市よりまちづくり動向
の説明



4つのテーブルに分かれてワークショップ

<今後の予定>

■第2回美園まちづくりワークショップ

日時: 7月16日(土) 14:00～16:00

テーマ: 美園地区の将来像を実現するための課題について話し合おう。

■第3回美園まちづくりワークショップ

日時: 8月7日(日) 14:00～16:00

テーマ: 美園地区の課題を解決する取組方法について話し合おう。

※1 みその都市デザイン協議会の活動とメンバーは？

【活動内容】

- 1.都市デザイン方針の作成
- 2.都市デザイン方針に基づく街並み形成、公共空間の利活用、歩行環境・地域交通等に関する各取組みの進行管理
- 3.都市デザインに関する情報発信・普及啓発 など

【組織】

・幹事会と分野別分科会から構成されています。分野別分科会は、現在、「都市デザイン方針作成分科会」が設置されています。

【協議会メンバー】

自治会(美園地区/新和地区)、土地区画整理審議会(浦和東部第一地区/大門下野田地区/浦和東部第二地区/岩槻南部新和西地区)、土地区画整理組合(大門上・下野田地区)、埼玉高速鉄道(株)、国際興業(株)、イオンリテール(株)、浦和レッズ(株)、埼玉大学、芝浦工業大学、(一社)美園タウンマネジメント、(独)都市再生機構、(公財)埼玉県公園緑地協会、埼玉県、さいたま市 (平成28年3月末現在)

※2 (仮称)みその都市デザイン方針って？

建築物やまち並みの景観デザインにとどまらず、まちのあり方や住みやすさ、にぎわいや安全性、スポーツや健康、環境との共生をテーマとした都市のデザインを描きます。

- 美園地区の目指すべき都市デザインの方向性
- 都市軸・エリア設定、公民学連携による具体方策
 - ・埼玉スタジアムへのアクセス道路や広大な調整池の活用
 - ・広場等のにぎわいづくり
 - ・公共交通、副都心の形成等への方向性
- 短期・中長期の目標設定

みその都市デザイン協議会

幹事会

都市デザイン方針
作成分科会

提案

ワークショップ

○住民の方

○関心のある方 等

(仮称)みその都市デザイン方針の対象範囲



対象エリア(約500ha)
…取組みの対象とするエリア
「美園地区」とする
●みそのウイングシティと
大門上・下野田地区周辺

周辺エリア(約3,000ha)
…地域資源の対象として連携
を図るエリア
●見沼たんぼ、岩槻方面
●東川口駅方面、越谷方面

土地区画整理事業
施行中の地区

第1回美園まちづくりワークショップ まとめ

「美園地区のまちづくりのめざす方向」をテーマに各班から出た目指す街の姿や必要な施設・場所・仕組みなどに関する意見をまとめました。第2回ワークショップでは、これらを踏まえて、まちづくりを進める具体的な場所や課題などについて意見交換していきます。

安心安全に歩ける街

- ・安心・安全な街【A・B・C班】
- ・歩行者優先の交通システム【A班】
- ・通学路に歩道区間がもっと必要【A班】
- ・463バイパスを安全に横断できる【A・D班】
- ・暗いところがなく、安心して歩ける【B班】
- ・防犯カメラの設置、照明を増やす【B班】
- ・子供が安全に歩ける街【C班】
- ・自転車と歩行者を分けるような整備【C・D班】
- ・広い歩道のある街【D班】
- ・子供が安心して集まれるお店・空間【A班】
- ・駅のバリアフリー化【B班】

落ち着いた雰囲気の良い美しい街

- ・「美園」という名前に相応しい美しい街【B班】
- ・ごみのないきれいな街並み【B・C・D班】
- ・お洒落なお店【B班】
- ・電柱がなく空の広い街【B班】
- ・建物が低く空のよく見える街【C班】
- ・景観に統一がとれた街【D班】
- ・駅からの大通りは街の印象で最も大事【A班】
- ・ごみごみ過ぎない街【B・C班】
- ・くつろげるお店【A班】・リラックスできる街【B班】
- ・落ち着いた公園・川治い【A・C班】

公園・緑が充実した街

- ・街路樹・公園・緑がもっと必要【A・B・D班】
- ・緑が多い街【C班】・桜の街【C班】
- ・散歩していて楽しい道【C班】
- ・四季の感じられる街【D班】
- ・わくわくドキドキする公園【A班】
- ・楽しめる公園【A班】
- ・大人も憩える公園【A班】
- ・遊具の充実【B班】
- ・大規模公園のある街【C班】
- ・バーベキューのできる公園【D班】

自然環境・農環境を活かした街

- ・自然と何気なく関われる調節池【A班】
- ・調節池の活用【A・C・D班】
- ・池の周りの整備（植栽・遊具など）【C班】
- ・綾瀬川の護岸整備【B班】
- ・綾瀬川に遊覧船【C班】
- ・農業体験ができる街【B班】
- ・地産の野菜を買える【B・C・D班】
- ・農地レンタル【C班】
- ・風の通り道を考える【B班】・強風対策【B班】

埼玉を中心としたスポーツ・健康の街

- ・浦和レッズの住民対象イベントが多い街【C班】
- ・サッカー大学の設置【C班】
- ・スポーツの街【A・D班】・サッカーだけでなく街【A班】
- ・埼玉を音楽や他スポーツに活用【D班】
- ・ジョギング・ランニングコース【B・D班】・自転車ロード【C班】
- ・オリンピックのカウントダウンボード設置【D班】
- ・健康都市・健康タウン【A・D班】・医療施設の充実【A班】
- ・スタジアムと大学病院の連携・コミュニティ形成【A班】
- ・順天堂大学に小児科入院病棟設置【C班】
- ・往診・訪問介護ステーション【A班】

駅を中心とした便利で賑わいのある街

- ・スーパー【A・B・C班】
- ・飲食店（蕎麦屋・カフェ・レストラン）【A・B・D班】
- ・便利な施設（銀行・郵便局・ATM）【A・D班】
- ・宿泊施設【B班】・入浴施設【C・D班】
- ・オープンカフェ【D班】
- ・通勤時始発で乗れることが魅力【A・B班】
- ・埼玉スタジアム線の急行運行【C班】
- ・大宮・浦和方面へのアクセス改善【A・C班】
- ・サッカー試合日の混雑解消【A班】
- ・スタジアムの道など地域を回遊できる道【B班】

多世代が交流・循環する街

- ・多世代が交流できる街【A・C班】
- ・様々な習い事ができる【A班】
- ・住民同士が教え合う【C班】
- ・祭りなど地域の伝統文化【B・C班】
- ・すれ違う人たちが挨拶し合う街【B班】
- ・常に若い世代が街にいる【C班】
- ・子供の多さが魅力【C班】
- ・保育園【A・B・C・D班】
- ・次世代の教育モデル都市【C班】
- ・ブランド力のある私立校【C班】

その他の注目意見

- ・国際色豊かな街【C班】
- ・ホームステイできる【C班】
- ・英語表記の案内板【D班】
- ・継続的に発展していく街【D班】
- ・まちを知る機会【D班】

